大阪大学経済学研究科/経済学部

部局間協定校派遣生の海外留学体験

１．基本情報

体験談記入日（☆）	2025 年　5 月　28 日
大阪大学での所属学部/研究科（☆）	経済学部
留学時の学年（☆）	男
派遣ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名（☆）	☑交換留学　　□　研究留学助成金 □　その他　（　　）
渡航先国名・地域名（☆）	フランス
滞在都市（☆）	リール
留学先大学等名（☆）	EDHEC Business School
留学先での所属学部/研究科（☆）	Master in Management-Business Management Track
留学先で主に使用した言語	英語、フランス語
渡航先への入国日（☆）	2024 年　8 月　23 日
渡航先からの出国日（☆）	2025 年　5 月　14 日
渡航先国での滞在期間（☆）	約 9 カ月
同伴者の有無・続柄・年齢等	無し
その他	

２．留学先の大学に関する情報

２．１授業に関する情報

履修科目名称	SOCIO-CULTURAL FRANCE
履修期間	Semester 1
授業時間（〇分×△回）	3 時間×12 回程度
授業形態（講義・セミナー）	セミナー、グループワーク
取得単位数	6ECTS
履修科目名称	MARKETING MANAGEMENT
履修期間	Semester 1
授業時間（〇分×△回）	3 時間×10 回程度
授業形態（講義・セミナー）	セミナー、グループワーク
取得単位数	4ECTS
履修科目名称	BUSINESS GAME REVAS
履修期間	Semester 1
授業時間（〇分×△回）	グループで時間を決めて行う、合計 15 時間ほどかかった
授業形態（講義・セミナー）	グループワーク
取得単位数	2ECTS

履修科目名称	Managing Human Capital
履修期間	Semester 1
授業時間（〇分×△回）	3 時間×10 回程度
授業形態（講義・セミナー）	セミナー、グループワーク
取得単位数	4ECTS
履修科目名称	FRENCH LANGUAGE COURSE BEGINNERS
履修期間	Semester 1
授業時間（〇分×△回）	2.5～3 時間×10 回程度
授業形態（講義・セミナー）	セミナー、グループワーク
取得単位数	5ECTS
履修科目名称	Family Business
履修期間	Semester 2
授業時間（〇分×△回）	6 時間×6 回程度
授業形態（講義・セミナー）	セミナー
取得単位数	6ECTS
履修科目名称	Operation Management
履修期間	Semester 2
授業時間（〇分×△回）	3 時間×10 回程度
授業形態（講義・セミナー）	セミナー、グループワーク
取得単位数	4ECTS
履修科目名称	Emotional Intelligence
履修期間	Semester 2
授業時間（〇分×△回）	週一回、一時間半程度
授業形態（講義・セミナー）	セミナー、オフラインで各自課題を進める、週一回グループミーティングあり
取得単位数	2ECTS
履修科目名称	Corporate Social Responsibility
履修期間	Semester 2
授業時間（〇分×△回）	3 時間×10 回程度
授業形態（講義・セミナー）	セミナー、グループワーク
取得単位数	4ECTS
履修科目名称	Luxury Brand Management
履修期間	Semester 2
授業時間（〇分×△回）	2 日間の集中講義
授業形態（講義・セミナー）	セミナー、グループワーク
取得単位数	2ECTS

履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	FRENCH LANGUAGE COURSE BEGINNERS Semester 2 2.5～3 時間×10 回程度 セミナー、グループワーク 5ECTS
留学生（日本人）の割合	マスターの同学年には一人か二人。正規学生や BBA に所属する学生を含めると全体で 8 人ほどいた。
成績評価の方法（試験・課題の数や分量等）	テスト、出席、グループワーク、プレゼン。 大阪大学よりはグループによる課題の比率が大きい。
履修科目の制限等（あれば）	20ECTS 以上取る必要がある。正規学生は 30ECTS ほどとる。
（英語圏以外の場合） 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	学校内では英語を使用する。 English Track のためフランス語学習以外の授業は全て英語で実施されていた。
語学に関するｻﾎﾟｰﾄ(特別授業、ﾁｭｰﾀｰ、ｴｯｾｲﾗｲﾃｨﾝｸﾞに関するｻﾎﾟｰﾄ等)	一応語学学習を助けてくれるツールやチューター制度もあったようだが、そのほとんどが正規学生向けであったため、利用しなかった。
授業内での留学生に対するｻﾎﾟｰﾄ等	特になし。 EDHEC のスタッフにフランス語しか喋れない人がおり、困ったことがあったがその時はフランス人学生が助けてくれた。
その他	

２．２福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	小さい食堂はあるが利用しなかった。 無人コンビニのようなものもある。
図書館について	小さく、学生に自主室として利用されていた
保健ｾﾝﾀｰ等の有無	わからない。あるかもしれない。
ｸﾗﾌﾞ・ｻｰｸﾙ等について	加入しなかった。交換留学生が入れる場所は少なかったように思う。フランス人学生はクラブ活動に多くの時間を割いていた。
留学生へのｻﾎﾟｰﾄ	ISO というところが留学生向けに多くのサポートをしてくれる。
オリエンテーション等学校主催の行事について	学期の始めに留学生向けのオリエンテーションが複数回ある。マスター以外の留学生にも会える数少ない機会であり、学期の始めにしかないため貴重である。
現地の学生との交流について	授業以外では関わることがほとんどない。授業中にはよく一

	緒に喋る学生もいた。
他の留学生との交流について	様々な国籍の友人ができた。学校だけの関係ではなく、ご飯や旅行にも一緒に行った。
学外での活動について（地域コミュニティー活動等）	特になし
長期休暇中の過ごし方	ヨーロッパの他の国を旅行した。
その他	

３．ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類（☆）	長期滞在ビザ
ビザの取得手続について（申請方法、申請から取得までの所要期間等）（☆）	Etudes en France で手続き→大使館に行き手続き。 EDHEC が長期ビザ取得のためのウェビナーを開いてくれるほか、日本語のサイトにも情報がたくさん載っている。かなり複雑で情報も古いものは変わっているので新しい情報をしっかり探すことが重要。期間としては準備から取得まで 3 カ月程度かかった。
利用航空会社	Cathey Pacific
入国の際の現地空港名	シャルル・ド・ゴール空港
空港から滞在先への移動について（交通手段や所要時間）	TGV でリールフランドル→駅からタクシー、合計 2 時間
入国審査について（提示した書類、審査官からの質問等）	パスポートの提示のみでいけた
渡航後の手続き（在留届の提出、外国人登録等）	在留届のオンライン提出、日本で申請した出生証明書の受け取り
その他	

４．金銭に関する情報

奨学金の受給	有　（無）
奨学金名	JASSO 交換留学生奨学金
奨学金月額受給額（円）	10 万円
入国時に用意した金額	口座には 70 万程度
ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞについて（ｶｰﾄﾞ会社名・日常の利便性）	WISE のデビットカードを利用していた。ユーロに変えるのが楽だったため。
留学中に利用した銀行名	WISE、楽天銀行、BNP Paribas
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	大学で手続きをする。BNP Paribas のようなでかい銀行が出張サービスで来てくれる。

ﾃﾞﾋﾞｯﾄｶｰﾄﾞの使用について	WISE を使用していた
日本からの送金方法について	WISE を使用していた
1ヶ月の生活費（目安）	13 万円(旅費、遊び代を除く)
その他	

５．暮らしに関する情報

５．１住居に関する情報

住居の種類(学生寮(一人部屋・二人部屋）・ｱﾊﾟｰﾄ等)	Twenty Campus が提供する学生寮
家賃	月額 545€(水道代込み、電気代は月額 57€)
住居を探した方法・時期	5 月に交換留学先から送られてきたメールから申請。 Twenty Campus の寮は先着順のため早く動く必要がある。
荷物の運搬方法 （ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等	23kg のスーツケース 2 個と機内持ち込み可能のリュックを自分で持って行った。帰りはこれに EDHEC からもらえる大きめのバッグを追加で持って帰った。
その他	

５．２　食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	平日の朝は寮が提供している。他は自炊した。
1ヶ月の食費	３万円ほど
その他	

５．３　その他日常生活に関する情報

電話について	Free の Sim を契約。他の国で 35 ギガ使えるプランにし、月額 19€。
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄについて（Wi-Fi 環境等）	寮に Wi-Fi がついていた。
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰについて	日本から持参。
郵便について	学校から送れる。郵便局も家から歩ける距離にあった。
交通機関について	メトロまたはトラムをリールでは使用していた。メトロ、トラム、バスは一律料金。CAF を申請できると月額 10€で乗り放題になる。
治安について	Roubaix は治安が悪いと聞いていたが、一回も危険に思うことや、スリにあったことはなかった。
保険について	日本の海外旅行保険に加入したのとフランスの必須保険に加

	入した。
医療機関・薬について	日本から薬を持参した。病院は一度も利用しなかった。
気候と服装について	大阪よりも涼しい気候で冬は寒かった。また冬は曇りや雨が多く、ほとんど晴れの日がなかった。留学の最初と最後の 2 週間ほどは半袖を着ていた。
普段の買い物について	家から徒歩 20 分ほどの LIDL(ヨーロッパの格安スーパー)に通っていた。
娯楽・行事について	暇な日はよくパリに行っていた。TGV Max という若者向けのサブスクがあり、お得にパリに行くことができていた。
日本語の使用について	他の日本人留学生や旅行先で会った日本人と話すときに使用した。
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	ユニクロの極暖、冬が寒いため。 お米を簡単に炊ける調理器具は持参したほうがよかった。
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	フランス、ヨーロッパを調べておくことで旅行が楽しくなった。 英語学習、特にスピーキングをもっと練習しておけばよかったと思う。留学中も英語学習をせざるを得なくなった。
その他	

６．就職活動に関する情報

留学前の就職活動について（セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等）	していなかった
留学中の就職活動について（海外からの情報収集、企業へのｺﾝﾀｸﾄ、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ等）	2 月にロンドンで行われるキャリアフォーラムに参加した。またオンラインで開催されている就活イベントにも時差の影響が少ない範囲で参加した。

７．語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	オンライン英会話、TOEFL 受験
留学中の学習方法、工夫したこと等	わからない単語や表現が出てきたら必ず調べて覚えるようにしていた。また積極的に他の留学生と会話し英語を使うようにしていた。
留学後にどれぐらい語学力が	リーディングを除きかなり上達したと感じる。特にスピーキン

伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等）	グはとても伸びた。

８．その他

留学して得られたこと	新しい地における生活適応力やトラブル解決力がついた。今回の留学が海外に行く経験として旅行を含め初めてであり、また一人暮らしも初であったためフランスでの全ての経験が自分にとって未知のものであった。最初は大変なことも多かったが次第に慣れていき、生活に対してストレスを感じることがほとんどなくなった。この経験は将来にも生きると思う。またフランスという日本語が通じない環境でトラブルに巻き込まれた時も冷静に対処する術を学べた。
留学中に困ったこと	電車が途中で打ち切りになったことや、フライトキャンセルになったときがとても困った。言語が通じない場合もあることはもちろんであるが、日本のこういったトラブル時に比べて情報が少なく、対処方法がわからないときがあった。
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	キャンパスフランス。 フランス留学経験者のブログ。

９．留学体験談・エッセイ（様式任意）

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を１～２ページ(様式任意)で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室の HP や Newsletter に掲載させていただく可能性があります）。

【留学を決めた理由】

高校生のころから、周りの留学経験者の話を聞き漠然と留学をしてみたいと考えていました。大学一年生のときに時間の関係から体育会の部活に専念するか、留学を見据えて最初から頑張るかの二択を選択しなければなりませんでしたが、中高続けていた競技の部活で結果を残したいと考え部活を選びました。しかし二年の夏に諸事情で運動が続けられなくなり部活を辞めたことで、新たな挑戦の場として留学をすることを思いついたのがきっかけです。フランスを選んだ理由としては、中学生のころからフランス文学が好きだったことが一番の理由です。フランス文学を通してフランスの文化、歴史、都市などに興味を持つようになり人生で一度は住んでみたいと考えていました。そして留学先にフランスがあったので、これはいい機会であると考えフランスに決めました。

【授業について】

EDHEC は実践を重んじるビジネススクールで、ほとんどの授業において程度の差はあれどグルー

プワークがありました。授業の半分は講義で、その後残り半分はグループでの活動であることが多く毎回積極的な授業参加が求められました。グループの構成としては半分以上がフランス人で残りがインドまたは中国からの正規留学生、そして他の世界各地からきていた交換留学生であったことがほとんどでした。そのような文化や言語の違いがある環境ではチーム内で喧嘩が起きたり、フランス人がフランス語ばかり話すなど問題も起きましたが、その分グループでの課題を無事終わらせることが出来たときの喜びは大きかったです。私は留学の最初のころ、英語力が他のグループメンバーに比べると劣っていてグループに迷惑をかけることが多かったですが、他のメンバーはとてもやさしく、助けてくれました。講義では日本人が少ないので、私が日本人としての意見を求められることが多く、日本企業や日本の文化の英語での表現が難しく言葉に詰まってしまう時がありました。

【楽しかったこと】

ヨーロッパの旅行や留学生の友人との交流です。旅行では昔から興味を持っていた場所や絵画などを見ることや、現地人との交流、一人で旅をしたときは新しい出会いなどがとても刺激的でした。留学生の友人とはそれぞれの祖国についてや価値観の違い、これからのキャリアなどの話をすることが日本ではなかなかできない体験で良かったです。

【大変だったこと】

一人暮らしや旅行先においてたくさんのトラブルが起きました。初めての一人暮らしでわからないことだらけであり、最初は周りに頼れる人も少なかったので手探りで頑張っていました。またフライトキャンセルや電車が途中で止まった時などは情報が少なく対処に困りました。フランスは行政手続きが遅いことで有名ですが、最終的に問題は解決することがほとんどでフランスの仕事のスピードに慣れたら問題ありませんでした。

【後輩へのメッセージ】

今回の留学を通して、留学は人生の幅を広げてくれるものであると感じました。留学前は似たようなコミュニティに属し、自分とまったく違う考え方、生き方をする人とはかかわりがほとんどなく、視野も狭かったと思います。留学では他国の留学生からももちろんですが、フランスや旅行先で会った日本人からもたくさんの刺激を得ることができました。留学前と後では自分のキャリアの考え方が大きく変わったと感じています。留学するかどうか悩んでいる方はあまり深く悩まずに思い切って挑戦してみることをおすすめします。